

第28回天神祭奉納ヨットレース（2021年）

帆走指示書（SI）（マーク位置修正分）

1、適用規則

- 1.1 本レースは「セーリング競技規則 2021-2024 (RRS)」に定義された規則を適用する。
- 1.2 レース公示と帆走指示書に矛盾が生じた場合は、帆走指示書を優先する。
- 1.3 外洋特別規定 (OSR) 2018-2019 附則 B インシヨアレース用特別規定並びに OSR 国内規定を適用する。
- 1.4 RRS の付則 T を適用する。

2、競技者への通告

競技者への通告は、レース本部（メルボルンハウス）内に設置された公式掲示板に掲示すると共にHPへの掲載等により行う。（以下、この両方法を総称して「公式掲示板等」という）

3、帆走指示書の変更

SI の変更は、開催日の出艇申告受付開始前に、公式掲示板等へ掲示される。

4、陸上で発する信号

- 4.1 陸上で発する信号は、出艇申告受付開始前から抗議受付締切時刻までの間、レース本部のポールに掲揚される。
- 4.2 AP 旗が音響 2 声と共に掲揚された時は（降下の時は音響 1 声）、「レースは延期された。予告信号は AP 旗の降下後 30 分以後に発せられる」ことを意味する。これはレース信号、AP 旗を変更している。

5、[DP] [NP] 日程・出艇申告

- 5.1 各クラス共に 1 レースを予定する。

| | | | |
|----------|-------------|--------------------------|----------------------|
| 7月11日（日） | 9：30から10：15 | 出艇申告 | <u>【注意】レース海面にて行う</u> |
| | | | <u>艇長会議は実施しない</u> |
| | 10：55 | 予告信号 | |
| | 15：00 | レースタイムリミット、但し SI 18 のとおり | |
| | レース終了次第 | 表彰式 | |

- 5.2 出艇申告は、レース海面上に設置する本部艇にて行うので、参加艇は、順序良く本部艇に接近し、本部艇に艇名と乗員数を届けて、本部艇より確認を受けてください。尚、艇同士の接触や負傷等に注意ください。

6、クラス

- 6.1 参加申込の状況により、クラス分けは次のとおりとする。

| | |
|-----------|---|
| A クラス | 全長 33 フィート以上の艇 |
| B クラス | 全長 33 フィート未満の艇 |
| クルージングクラス | ダクロンセールを使用し、かつノンスピンの、ノンジェネカーで参加し、 当レース委員会が認めた艇 |

尚、クラス分けは、NOR に基づき、変更する場合がある。

- 6.2 クラス旗、各クラス共通で OHC クラブ旗を用いる。

7、レースエリア

大阪湾西宮一文字防波堤沖とする

8、コース

- 8.1 三角形のコースを 2 周する 6 レグとし、通過すべき各マークの位置、順序は末尾コース図のとおり。
- 8.2 コースは 2 種類用意し、予告信号前に旗の掲揚により指示する。

8. 3 旗によるコースの指示 数字旗 1 (横長三角旗 白地に赤丸) コース 1 を使用する
数字旗 2 (横長三角旗 青地に白丸) コース 2 を使用する

この指示は、予告信号までに本部艇に掲示して行う。

9、マーク

各マークは、黄色の立方体ブイを使用する。

10、コミッティーポート

- 10.1 本部艇には、天神祭奉納旗（赤色）を掲揚する。
10.2 運営艇として、OHYC「たけなわ艇」を使用する。

11、スタート

- 11.1 レースは、RRS26 に従ってスタートする。尚、予告信号は 10:55 を予定する。
11.2 スタート信号後の 5 分以降にスタートする艇は、「スタートしなかった」と記録される。
これは RRS A4 を変更している。

12、[NP] 個別リコール

個別のリコールを発する場合には、本部艇は RRS29.1 (個別リコール) に基づく旗・音響信号と共に VHF 74ch で、その艇のセール番号、艇名を送信するように努めるものとする。
但し、送信できなかつたり、送信の時期が適切でなかつたり、または聴取できなかつたとしても、救済要求の根拠にはならないものとする。これは RRS62.1 を変更している。

13、ゼネラルリコール

ゼネラルリコールは、RRS29.2 により信号を発する

14、コース短縮

レース委員会は、コースの短縮を行うことがある。

15、コースの変更

原則として、コースの変更は行わない。

止むを得ず行う場合は、RRS33 により信号を発し、新しいマークはオレンジ色の円筒型とする。

16、一時的なエンジンの使用

- 16.1 艇は、そのレースで著しく有利とならない範囲で、次の場合にエンジンまたは他の方法で推進することができる。
16.1.1 コース上の障害（灯標、灯浮標等）または船舶、艇との衝突を緊急に防止する場合
16.1.2 無風、または強潮を含む極端な天候から避難する場合
16.2 艇がエンジン又は他の方法を使用した場合、使用開始時刻及び停止時刻（又は稼働時間）、及び使用状況（使用を開始した時点での概位、航走方位、マイル数等）を記録した申告書を、抗議締切時刻までにレース本部に提出しなければならない。
16.3 [DP] [NP] 申告に基づき、適当と判断される値のペナルティーを課すことがある。

17、フィニッシュ

フィニッシュラインは、運営艇の青色旗を掲揚したポールとフィニッシュマーク（黄色）との間とする。

18、タイムリミット

レースタイムリミットは、レーススタート後 3 時間とする。この時刻までにフィニッシュしなかった艇は、レースにフィニッシュしなかった (DNF) と記録される。これは RRS35 及び A4 を変更している。

19、[DP] [NP] 帰着申告、リタイア

- 19.1 帰着申告は、レースのフィニッシュをもって申告とする。
- 19.2 レース委員会がGPS 端末、ゼッケン等を貸与している場合には、これらをレース本部に返却すること。
- 19.3 レースからリタイアした艇は、速やかにレース委員会に報告しなければならない。

20、抗議

- 20.1 抗議書は、レース本部で入手できる。抗議、救済要求および審問の再開の要求は、その日のレースの終了後60分以内にレース本部に提出されなければならない。
- 20.2 抗議締切時刻は、公式掲示板等に掲示される。
- 20.3 抗議の通告は、審問の場所及び時間、抗議の当事者、又は証人として指名された者を競技者に知らせるため、抗議受付締切時刻後30分以内に掲示される。
- 20.4 レース委員会、プロテスト委員会またはテクニカル委員会による抗議は、RRS61.1 [b] に基づき伝えるために公式掲示板等に掲示する。
- 20.5 抗議は、出来るだけ早く、ほぼ受付順に審問される。
- 20.6 [DP] [NP] SI19「出艇申告および帰着申告」、24「安全規程」、25「無線の使用」の違反は、艇による抗議の根拠とはならない。この項はRRS60.1(a)を変更している。
これらの違反に対するペナルティーは、失格より軽減することができる。

21、レース本部・緊急連絡先

この大会のレース本部等は、大阪北港マリーナ内メルボルンハウス内に置く。

| | | | |
|-------|--------|-------|---------------|
| 緊急連絡先 | レース委員長 | 田淵秀博 | 070-8952-1624 |
| | 委員 | 宇都宮則夫 | 090-5464-2423 |
| | 委員 | 藤本増夫 | 090-3166-8993 |

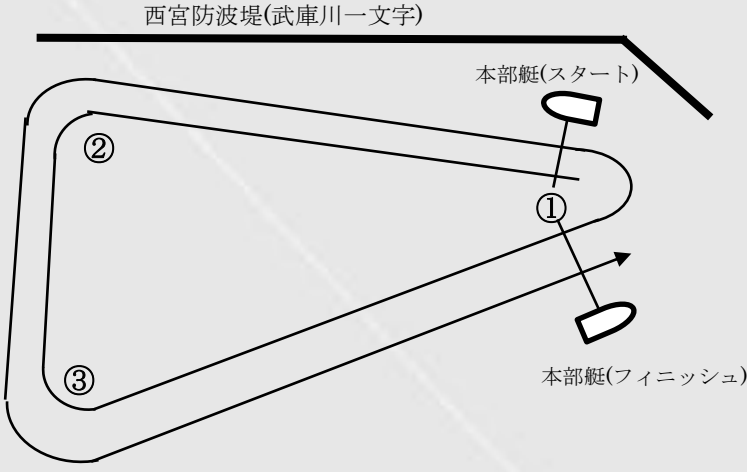
以上 20210704 VER. 1.1

別紙 (コース図)



| | | |
|---------------------|-------------|--------------|
| コース 1 | | |
| 数字旗 1 (横長三角旗 白地に赤丸) | | |
| ①点 | 34°40.100'N | 135°21.100'E |
| ②点 | 34°40.400'N | 135°19.200'E |
| ③点 | 34°39.400'N | 135°18.900'E |

| | | |
|---------------------|-------------|---------------------|
| コース 2 変更後の位置 | | |
| 数字旗 2 (横長三角旗 青地に白丸) | | |
| ①点 | 34°40.100'N | 135°21.100'E |
| ②点 | 34°40.300'N | 135°19.500'E |
| ③点 | 34°39.600'N | 135°19.300'E |



①点のブイと本部艇との間を、本部艇を右に見てスタートし、②点、③点のブイを反時計に周り、①点に戻るコースを2周帆走後、①点のブイと本部艇との間を、本部艇を右に見てフィニッシュする。

スタート(①)→②→③→①→②→③→フィニッシュ(①)